



小久保 照枝 議員 公明党

問 移動スーパーで繋がる地域を！

答 支援として大いに期待

問 高齢者世帯や交通不便地域の調査状況は。

答 〔健康福祉部長〕「不安があっても買い物や通院で運転している」「バスは荷物が重く帰れない」「タクシーは来てくれない」などの意見がある。

問 移動式スーパーをどう評価しているか。

答 交通弱者に選択肢が増え、高齢者にとって暮らしの豊かさにつながると考える。

問 移動販売事業者と協定締結を検討しているか。

答 見守り協定の調整を行っている。

問 行政が運行ルート調整や公共施設の活用を支援する可能性は。

答 地域や事業者と連携を図る。

問 事業の持続可能性を高めるため、予算的支援や補助金制度を導入する考えは。

答 利用ニーズの検証は必要だが、支援は考えていない。

問 市長総括を。

答 〔市長〕移動スーパーは買い物弱者の支援として大いに期待している。高齢者がいきいきと暮らすまちを目指す。



▲移動スーパー

問 市独自の物価高騰対策を！

答 国の制度を有効活用する

問 これまで実施した物価高騰支援策の内容は。

答 〔総務部長〕水道料金の基本料金免除、学校給食費補助事業、自治会支援事業など。

問 今後の施策の検討状況は。

答 効果的な支援が行き届く施策を検討。

問 低所得世帯・ひとり親家庭への具体的な支援策は。

答 〔健康福祉部長〕自立支援計画の作成、就労支援、住居確保給付金、家計改善に対する支援。社会福祉協議会にて生活福祉資金の貸付事業。

問 食料支援・公共料金減免など新規支援は。

答 〔市民生活部長〕国の制度を有効活用し実施。

問 中小企業や個人事業主への具体的な支援策は。

答 〔建設部長〕弥富市商工会と協力した経営改善、事業拡大、後継者育成、創業支援や、小規模企業等振興資金融資制度の保証料補助、セーフティネット保証制度の認定。

問 補助金・税制優遇の拡充に関する方針は。

答 固定資産税の特例措置等の支援策を継続。

問 長期的ビジョンは。

答 〔総務部長〕効果が直接的に届く支援を引き続き実施。

【その他の質問】

支援が必要な保育の強化は

